

鎌倉市公共下水道経営戦略（令和3年度～令和12年度）進捗表（付帯意見項目）

付帯意見	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度計画・予算
1 取り組むべき事業			
<p>(1) 早急なリスク把握</p> <p>（汚水溢水・道路陥没等防止へ、民間開発団地等調査・中期的調査計画策定）</p>	<p>ア 七里ガ浜処理場耐震診断（過年度実施済み箇所とあわせ、完了）</p> <p>イ ストックマネジメント全体計画業務（七里ガ浜処理場・山崎処理場、汚水ポンプ場、雨水ポンプ場）</p> <p>ウ 雨天時浸入水調査（中部ポンプ場流入エリア内の詳細調査エリアの抽出）</p> <p>エ 下水道管路施設等包括的民間委託業務内容の検討、積算</p>	<p>ア 七里ガ浜処理場（B系）耐震設計</p> <p>イ ストックマネジメント実施計画策定（山崎処理場）</p> <p>ウ 山崎処理場耐震診断（管理棟他）</p> <p>エ 雨天時浸入水調査詳細調査（大町・材木座地区）</p> <p>オ 下水道管路施設等包括的民間委託開始・業務実施準備（含む民間開発団地の本管、伏越し箇所の等の調査）</p>	<p>ア 七里ガ浜処理場（B系）耐震設計（非線形診断）</p> <p>イ ストックマネジメント計画の実施（山崎処理場中央監視基本設計）</p> <p>ウ 山崎処理場耐震診断（B系他）</p> <p>エ 雨天時浸入水調査詳細調査（二階堂地区）</p> <p>オ 下水道管路施設等包括的民間委託業務実施（含む民間開発団地の本管、伏越し箇所の等の調査）</p>
<p>(2) 予防保全型の管理体制へ</p> <p>（事故抑制・コストの削減・平準化へ、技術者の確保、民間活用、情報システム導入）</p>	<p>ア 機械職1名の採用（4年度4名に）</p> <p>イ 日本下水道事業団の活用・ストックマネジメント全体計画業務（七里ガ浜処理場・山崎処理場、汚水ポンプ場、雨水ポンプ場）・七里ガ浜処理場耐震診断業務</p>	<p>ア 電気職の採用なし（合格者辞退のため）</p> <p>イ 日本下水道事業団の活用・ストックマネジメント実施計画策定（山崎処理場）・山崎処理場耐震診断（管理棟他）</p>	<p>ア 電気職の採用</p> <p>イ 日本下水道事業団の活用・ストックマネジメント計画の実施（山崎処理場中央監視基本設計）・山崎処理場耐震診断（B系他）</p>

付帯意見	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度計画・予算
(3) 持続型下水道幹線の整備 (計画・設計・用地確保、処理場統合の検討準備)	七里ガ浜新ポンプ場の位置再検討 (3候補地での配置検討)	ア 下水道全体計画への位置付け準備 (県との調整、地質調査) イ 七里ガ浜新ポンプ場(案)から山崎処理場における処理場一元化(案)に整備方針を変更	下水道全体計画への位置付け準備 (県との調整、施設[管渠]計画の検討)
2 財源確保			
(1) 下水道使用料の適正化 (適正な使用料の確保、基本使用料のあり方の検討)	ア 下水道事業運営審議会の改定答申 イ 条例改正準備 ウ 下水道使用料改定に係る予算要求	ア 条例改正(市議会6月定例会) イ 広報(市広報紙、HP、チラシ配付、モニター広告) ウ 上下水道料金管理システム変更(県へ委託)	ア 下水道使用料改定 イ 令和8年度改定準備
(2) 繰入金の方向性 (長期的には基準外繰入の減少、使用料とのバランス)	28.2億円(計画29.3億円)うち基準外繰入金約12.7億円 使用料23.9億円(計画23.1億円)	予算31.8億円(計画31.4億円)うち基準外繰入金16.3億円 使用料23.6億円(計画22.8億円)	予算29.6億円(計画29.2億円)うち基準外繰入金8.8億円 使用料27.5億円(計画26.5億円)
(3) 健全経営へ(財政収支) (管理の効率化、黒字の維持、積立金の確保)	ア 下水道管路施設等包括的民間委託業務内容の検討、積算 イ 換気等設備の更新(モータの省エネ化) 継続事業:未接続家屋解消のための個別訪問、水洗化等助成制度	ア 下水道管路施設等包括的民間委託開始・業務実施準備 イ 汚泥放射能の測定回数減 継続事業:未接続家屋解消のための個別訪問、水洗化等助成制度	下水道管路施設等包括的民間委託業務実施 継続事業:未接続家屋解消のための個別訪問、水洗化等助成制度
3 事業の推進			
(1) 広域化・共同化 (施設・業務)	県検討会への参加(汚泥処理・調達・水質検査等)	ア 県検討会への参加(広域化・共同化計画策定) イ 持続型下水道再整備事業において処理場一元化の検討を方針決定	ア 県検討会に継続参加 イ 持続型下水道再整備事業における処理場一元化案の検討

付帯意見	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度計画・予算
(2) 民間事業者の更なる活用	下水道管路施設等包括的民間委託業務内容の検討、積算	下水道管路施設等包括的民間委託開始・業務実施準備	下水道管路施設等包括的民間委託業務実施
(3) 下水道資産の活用 (エネルギー・資源回収、処理場空間の利用等)	継続事業：処理水の鎌倉武道館トイレでの活用、汚泥焼却灰の建築資材としての活用	下水熱（空調、給湯の熱源）の活用についての検討 継続事業：処理水の鎌倉武道館トイレでの活用、汚泥焼却灰の建築資材としての活用	山崎処理場における太陽光発電についての検討 継続事業：処理水の鎌倉武道館トイレでの活用、汚泥焼却灰の建築資材としての活用
(4) 進捗管理と見直し (進捗評価・見直し、評価体制・方法の明確化)	下水道事業運営審議会への進捗報告制度化、報告書・意見の公表	継続事業：下水道事業運営審議会への進捗報告、報告書等の公表	継続事業：下水道事業運営審議会への進捗報告、報告書等の公表
(5) 市民理解の促進	継続事業：施設見学の受入（通年）、夏休み親子下水道教室、「鎌倉市下水道週間」（9月）に合わせ、ポスター掲示、市広報紙に普及率等掲載	ア 鎌倉駅地下道ギャラリーに下水道の重要性、料金改定等についてのパネル展示 イ 料金改定等について市広報紙へ掲載（9月1日号、3月1日号） ウ 検針票とともに料金改定に係るお知らせの全戸配布（2回） 継続事業：施設見学の受入（通年）、夏休み親子下水道教室、「鎌倉市下水道週間」（9月）に合わせ、ポスター掲示、市広報紙に普及率等掲載	継続事業：施設見学の受入（通年）、夏休み親子下水道教室、「鎌倉市下水道週間」（9月）に合わせ、ポスター掲示、市広報紙に普及率等掲載、啓発グッズの配布